緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌
Niigata Forestry Magazine vol.4

林業事業体レポート ▶ File 01

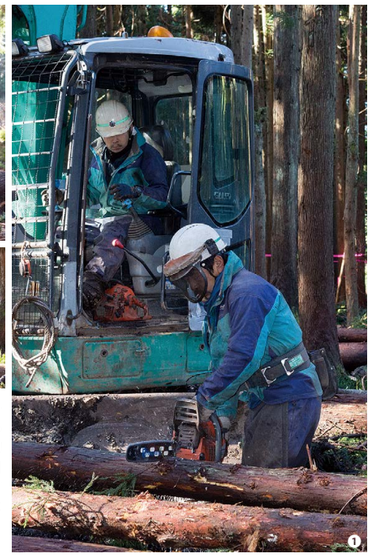
株式会社戸田組 魚沼市

ふるさとの山を守りたいという強い思いで森林整備に取り組む

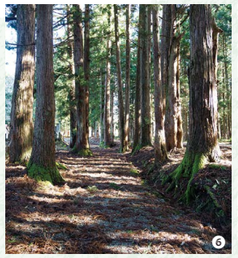
現場は南魚沼市の山口。八海山の入り口だから山口と名付けられたという。ザウルスロボで材を集積しているのは森山修さん

建設業を主体とする株式会社戸田組が森林整備事業を始めたのは10年前。農業用水のメンテナンスなどの仕事を請ける中で、社長の戸田東一さんは山の荒廃が原因で川に流木が流れてくる状況に危機感を覚えたという。「このままでは山が崩れて生活用水の確保も難しくなる。山の整備を始めないといけない」との思いが森林整備事業着手への一歩を突き動かした。作業道作りをはじめ、骨材の採取など建設業で培ったノウハウを取り入れた独自の技術も戸田組の強みだ。

現在、多くの山が放置されている理由として所有者の高齢化と一つの山を何人かで共有した場合に全員の賛同を得る難しさが挙げられる。戸田組では山の安全性と将来に向けての健全性を説く、森林施業プランナーの戸田ひろみさんの功績が大きい。説明会を開催するほか、所有者が気軽に山に入れるように遊歩道を整備するなど、山に関心を持ってもらうための努力・工夫を惜しまない。生産性も重要だが山への敬意を第一にした丁寧な取り組みは、地元から厚い信頼を得ている。



❶間伐現場では森林技術員の山口公一さんと森山修さんがペアで作業を進めていた ❷チェーンソーで枝払い・玉切りを行う ❸森林施業プランナーの戸田ひろみさんと山の所有者の一人、種村さん。「ひろみさんのお勧めで整備してよかったです」



❹造材力アップのため、高性能林業機械を積極的に活用。ストローク式ハーベスタを操るのは社長の戸田東一さん ❺曲がった木が多い現場ではストローク式のハーベスタが大活躍 ❻戸田組の現場ではいつでも所有者が気軽に立ち寄れるように通路を整備。森林技術員は作業内容を説明するなど、コミュニケーションも大事にしている

緑の担い手

～大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち～

❶七日市の現場では3人の森林技術員が枝打ちを行っていた。チェーンソーで木を傷つけないようにノコギリも使い、丁寧に作業する ❷❸大阪の藤井電工と共同開発したオリジナルの安全帯。幅が太いので安定感があり、カラビナも2カ所に付けられる ❹胴綱を巻き、昇柱器を使って木に登る森林技術員の山田智明さん ❺左から森林技術員の星雅人さん、山田智明さん、大廣幸希さん、GPSやGIS（地理情報システム）担当の戸田有紀さん

山口 公一さん

Yamaguchi Koichi

［年齢：56歳　林業経験：20年］

事故を起こさないことを第一に

戸田組に来る前は森林組合に勤めていたので林業歴は長いです。仕事に慣れてしまったという過信から、慎重さに欠けてしまわないように、日々、気を付けています。実際、今でも自分が思ったような方向に木が倒れないときもあります。事故を起こさないために安全確認を十分に行います。特に伐倒の場合は、周囲に人がいないように確認して、必ず合図の笛を吹いてから倒しています。

森山 修さん

Moriyama Osamu

［年齢：37歳　林業経験：8年］

達成感こそ林業の最大の魅力

祖父が林業関係の仕事をしていたので、小さい頃から興味を持っていました。もともと自然が好きだったこともあり、29歳のときに戸田組に転職しました。間伐などを通じて山がきれいに明るくなっていくのを見るのはとても気持ちが良いですね。林業は危険面などのリスクもありますが達成感が大きいことが魅力だと思います。赤字にならないように効率良い作業を心掛けています。

事業主コメント　株式会社戸田組 代表取締役社長 戸田東一さん

平成16年の中越地震発生時に湯之谷の土砂崩れ現場で遠隔操作実作業を行って二次災害を防ぎました。そのときに地元でも災害が起きる前に森林を整備する必要性を痛感しました。経営的にはまだまだ厳しいですが10年間やってきた成果は感じています。今後はスタッフを増やして若手に技術を継承していきたいです。

事業体Data

株式会社戸田組

住所／魚沼市葎沢204-8　電話／025-792-0417
設立／昭和50年　資本金／300万円
従業員数／39人（森林部門8人）
勤務時間／8:00～17:00　主な勤務地／魚沼市周辺
主な従事業務内容／森林整備、土木事業、一般貨物運送ほか